

学習院発祥の地

閑院宮家出身の光格天皇は 1779 年に即位しました。学問を重んじ、貴族の教育の促進に尽力しました。仁孝天皇の在位期間の 1845 年に、徳川幕府は京都御所内に教育機関を設立することを許可します。その 2 年後、孝明天皇のもとで開校した学校は、貴族や宮中の役人、そしてそれらの子息に対して、日本と中国の古典に関する教育を施すことを目的としていました。1849 年に孝明天皇から下賜された勅額により、この学校は正式に「学習院」の名で呼ばれるようになります。

明治時代が始まり、東京に皇居が移された際に、京都学習院も閉校となりました。しかし、1877 年、東京に新たに設立された貴族のための学校に明治天皇が再び勅額を下賜し、「学習院」の再興を果たします。現在の学校法人学習院はこの時に設立されたものです。